

# えでびん

立川と語ろう 立川に生きよう

September 2013

Écoutez Bien Vol.32 No.346

9

コブキヤが立川の真中に本社ビル!?





## 夏の終わりに、 これぞフュージョンという一品。

### *Cuisse de Poulet rôti en Robe d'Ashitaba à ma façon*

立川産ハーブと落花生をまとった信玄鶏のロースト、アシタバに包まれて!!

レギャン東京 マエストロシェフ

山岸一茂

残暑が厳しいこの時、皆さんお元気ですか？ 僕はいつも元気です。いろいろな所からパワーを戴いています！ファッション業界はもう秋の装いですが、まだ暑いですね。この時季シェフ達は結構悩みます。年々気候が変わってきています。料理はファッションと同じですから常に先取りなんです、ここ最近の寒暖差には悩まされます。

話を料理に戻しますが、フランス料理はソースの芸術と言われています。ところが、本家本元のフランスでさえ、ソースが軽くなりオリーブオイル・ハーブ等を多く使うようになってきました。これは、昔と違い生活環境が激変しているからです。ヘルシーな食材を求め、調理法を研究した結果、3つ星のシェフ達は日本の京料理に目を向けました。懐石料理の技法・表現方法の勉強に彼らは毎年日本を訪れます。それだけ日本料理の食文化は世界に誇れるもの

なのです。皆さん、もっと胸を張って誇りを持ちましょう！

今回の料理は素材の持味を最大限に引き出したひと皿です。信玄鶏——これはその昔、武田信玄が食していたと言われている銘柄鶏です。身が締まっていてとてもジューシー。秘伝のハーブ・香料をまぶしこんがり炭焼きにしています。ソースは添えません。一番搾りのオリーブオイルとカボスを絞って戴きます。立川産のアシタバやお野菜と一緒に！この料理に合うお酒？ フレンチ、イタリアン風に決めたいのなら、良く冷やした辛口の白ワイン。和っぽく行きたいのなら、フルーティーな日本酒、麦焼酎。気軽に味わうなら、恵比寿ビールかな！ソースを添えず、立川野菜と一緒に、素材のおいしさを味わってください。残暑厳しいこの時、身体には呉々もお気を付け下さい。それでは、ボナペティ！

# 立川の街に 貢献したい

## 世界に飛び出したフィギュアメーカー KOTOBUKIYA 社長 清水一行さん

曙町のおもちゃ屋だった壽屋。立川生まれの立川育ち。  
立川を中心に建てる本社ビルで、街のこれからに一石を投じる。

—社長は立川のご出身なんですか?

**清水** 高松町に家が7軒くらいしか無かった時代に、ひいお祖父さんが砂川から曙町へ出てきました。昭和23年からおもちゃ屋をやっているけれど、その前は旅館をやったり蚕をやったりね。壽屋の壽はお祖父さんの壽三郎の一字です。

—社長はプラモデルがお好きだったんですか?

**清水** 全然(笑)。おもちゃ屋もやる気なかった。当時はおもちゃ屋と言っても、今と違って節句人形を売ってたんです。そこから模型屋に転向した時期は、ゼネプロという会社が既存のプラモデルにないもの、マニア向けにこだわったものを作り出した時です。

—いわゆるガレージキットですやね。

**清水** そう。大きなメーカーがアバウトな模型を大量生産する時代ではなく、ゴジラとかウルトラQとかというものがよく売れたんです。そこでガレージキットメーカーが沢山できて、多い時には30社くらいありましたね。10個程度なら普通のお店で売ってしまう数。そういうものを手軽に売っていったのが当時の始まりです。

—第一デパートがなくなって、立川にはお店がありませんよね? どこかに新しくお店を設けるんじゃないかなって、期待する声があります。

**清水** 実は、市内に自社ビルを建てること

になったんです。そこにみんな持って行くという計画です。

—ええ! そうなんですか! へえ。楽しみですやね。立川は第二の秋葉原とかミニ秋葉原とか言われていますが、もう1つ盛り上がり欠けるものがありますから、期待されちゃうんじゃないですか?

**清水** 核になるところがないから盛り上がり来ないんじゃないかな? 壽屋もね、会社を見に来る学生がいるんですが、看板だけ見て帰っちゃう。フィギュアを作っている会社だと思ってるからでしょうね。セル画とか描いているんじゃないかと思うでしょう。原型はこちらで作っていますが、製作は100%中国ですから生産工程をみせることはできないんですが、そういったことを意識して、本社ビル建設時には立川の街に貢献できるようなものを入れ込んでいけたらいいなと思っています。

—第一デパートの壽屋ファンは待っているでしょうね。

**清水** そうだと思いますよ。だからその期待にどう応えるかが問題なんです。でも実際にはつまらない店なんです。模型屋なんだから。プラモデル教室はやりたいと思っています。それとショールーム。やっぱりうちは立川の模型屋のイメージで。立川にしながら、お客様が全国に散らばっているの、立川には何にもしていない。少し貢献できればと思っています。

—模型だけじゃないでしょう?

**清水** プラモデルと、秋葉原で売っているような商材と、立川のアニメ系まちおこしが盛り上がるようなラインナップを作ってみたいというイメージはあるんです。

—立川にとってはすごくうれしい話ではないですか。同時に、一部の市民にはオタクを集めることへの嫌悪感があるかもしれない。

**清水** そうね。昔のオタクと言えば、家にもっているのがそうだけど、今のオタクは博士のイメージでしょう。マニアよりさらに深い知識を備えていてね。ある意味、賞讃される存在で、オタクと呼ばれると嬉しいって言いますね。

—そういうオタクを相手にご商売されているのだから、社長は相当尊敬されているでしょ?

**清水** 先日ね、中国に原型を持って行かなければならなくて、朝早くに自分の車で走っていて、国立のコンビニで車を停めたのね。そうしたら子どもたちが朝早いのに一番くじ引いているんだよ。で、フィギュアが当たった、当たったって騒いでいるから、「このフィギュア、どこで作ってるか知ってる?」って聞いたの。知らないって答えたから、「これは海洋堂さんだよ」って。じゃ、壽屋知ってる? って言ったら、知ってる、知ってるって(笑)。なんだか知らないけど、そう聞いたら、すごく嬉しくなっちゃって、たまたま積んで

あった原型を見せたら、もう狂喜乱舞ですよ。なおかつ私が社長って言ったら、なんか神に会ったようになっちゃってね(爆笑)。

—(笑) その世界では神様ですから! 社長も神でしょうが、壽屋さんは社員さんに神を揃えているんでしょう?

**清水** ある意味はそうかな。好きでやっていると長続きするから。そうは言っても、お客様に商品を買ってもらうわけですから、人の意見が聞けたり調整能力が高くないと、自分が知っている、自分の思う通りには、かえって知識が邪魔してしまう。実際には神ではないし、時代は流れていますからね。自分の力だけで勝負しようとする人は続かない。

—社会貢献活動もさかんになさっているのが良かったです。

**清水** やってますよ。縁あって立川シティハーフマラソンのスポンサーを続けるということになりました。

**杉山** 単にお金の面だけでなく、立川の壽屋にみなさんが期待される部分に対する協力もさせていただいています。会場で配布したぐるみのぬいぐるみとか宣伝の入っていないクリアファイルとかですね。

—楽市でもフィギュアを貸し出して撮影会をなさっていましたね。

**清水** 壽屋の名前なんか出なくてもいいんです。うちが良ければではなく、立川が良くなければダメなんです。

—そういう観点から、立川市の主導するアニメでのまちおこしはどうご覧になりますか?

**清水** 全体で動いている感じがしない。1チームが頑張っているという感じだもの。連動していないでしょう?

—そうですね。

**清水** 三鷹が頑張ってますよね。アニメスタジオで固めてきてます。立川も本気になればね。アニメイトとかボックスとかあるんだけど、規模が小さい。吸引力にはなり得ない。極端な話、秋葉原からお客様を引っ張ってしまうくらいにならないと。

—第一デパートには、よく山梨からお客様がいらしてましたよね。

**清水** 第一デパートはアメ横みたいな雰囲気よかったです。うちが入っていた3階は趣味のフロアでした。本屋さんはすごく偏った品揃えでね。

—虫屋さん、ありましたよね(笑)。

**清水** 虫ね、夜中に逃げちゃってね(笑)。

—あと、サンモリノ。

**清水** そうそう、サンモリノね。それぞれが何か独特なものを持っていないと聖地にはなれない。

—本社ビルでは他には?

**清水** 秋葉原にイベントスペースを持っているけれど、今度はそれも作ろうと思っています。声優呼んだりね。

—すごいことになっちゃいますよ。

**清水** すごいことしないと、お客さんは来ないじゃない。

—アイドルの劇場とか? 八王子にはご当地アイドルいますよね。8プリって言うんですけど。

**清水** うちは自前でアイドルいるんですよ。『KT48』かな? 個人活動なんですけど、業界では有名な子です。

—48人いるんですか(笑)?

**杉山** いや、募集中ということで。

—立川市に呼びかけてオーディションとか?

**清水** バカなこと言って(笑)。

**杉山** 枠ありますんで、えくてびあんさん、よろしかったらどうぞ。

**清水** 面白い!(爆笑)

—何歳までいいんですか?

**清水** お客様次第でしょ。いいんじゃないですか、お客様の要望があれば(笑)。横に並んで握手会やって、誰が一番要望があるかって。下から二番目はJ2に降格とかね。—社長、面白〜い。

**清水** いや、真面目にやると「48」を使うにはいろいろむずかしいから、24くらいがいいんだな。まず48人集まらないし(爆笑)。

同席: 杉山 学さん  
株式会社 壽屋 戦略開発部 部長

株式会社 壽屋 代表取締役 清水一行さん



# 冬でも ブルーベリー 食べられます

## 農工大植物工場で成功している果実連続生産

植物工場といえば、内部環境をコントロールして作物を育てるところ。通常はレタスに代表される葉物野菜が多い。それを果樹に応用できないか——未来に光を与えるのは農工大の挑戦。

花と実が一緒の枝に



地上の太陽光を調節して育てられているブルーベリー

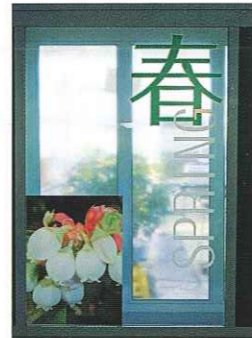


荻原 勲 先生

1955年生まれ、群馬県出身。専門は園芸学、著書に「図説園芸学」「人が学ぶ植物の知恵」「植物工場大全」などいつでも食べられて、おいしいブルーベリー果実の作り方を研究している。  
東京農工大学大学院  
農学部長・農学府長・農学研究院長 農学博士



植物工場模型



地下の人工光で育てられているブルーベリー



地上の秋の部屋 日照時間をコントロールしている



研究員の車敬愛さん(左)と堀内尚美さん



温度や光を調節して  
四季に分けられた部屋  
受粉にはマルハナバチを使う

府中市にある農工大植物工場は、2009年に経済産業省の事業として採択され、2011年に建設された施設。ブルーベリーをメインで栽培しているが、果樹を栽培する植物工場は珍しく、日本唯一だそうだ。この研究を進めているのは荻原勲教授。今回は研究員の車敬愛さんと堀内尚美さんに植物工場を案内してもらった。

ブルーベリーの品種は世界に200種以上。現在日本では100品種強が流通している。日本のブルーベリー第一人者と言えば農工大の故岩垣駿夫博士が有名だが、農工大植物工場周辺には120品種以上が栽培され、ブルーベリーの見本園も植物工場に併設されている。

ブルーベリーは4月に花を咲かせ、6月から8月中旬まで収穫する。しかし、植物工場のブルーベリーは、品種を選び、実験を繰り返した結果、現在では花を咲かせる時期、実を収穫する時期をある程度思い通りにコントロールすることができるようになった。2010年、実を収穫した枝にまた花が咲くという現象を発見。環境を整えてあげることで冬場に果実を生産できた。2011年、花を咲かせながら実を熟

させていく、それが長い期間続いた(四季なり)。2012年、4月に花が咲き7月に収穫、その後9月に再び花が咲き、12月に収穫の2期なりが確定。1回目の収穫も2回目の収穫も、味に変わりはない。2013年、その2期なりをいつまで続けられるかが明らかになる。落葉性と言われるブルーベリーが常緑樹となって通年収穫に向かっているのだ。

この成功には大きな偶然が影響している。2011年3月11日。東日本大震災後の電力不足に伴う節電で、植物工場は四季の部屋にコントロールした人工光を与えることができなくなった。すると、通常は昨年伸びた枝先に花芽がつくのだが、不思議なことに、今年の春伸びて来た枝先に花が咲き始めたのだ。この偶然から、もしかしたらずっと花と実が混在する状態をつくれるのでは…そう考えた。

花をたくさん咲かせ、実をたわわに実らせるブルーベリーを、福島復興に役立てる事はできないか…今、植物工場を中心に農学部と工学部とがコラボして事業化へと進み出している。

えくてびあんはリストのお店にあります。  
今月は 栄町・高松町・曙町 のお店です。

**栄町**  
たましん 栄町支店 ..... 536-9711  
いなげや 立川栄町店 ..... 523-7201  
ニュースサービス日経 立川中央 522-4507  
チーズ王国 本社 ..... 513-4101  
彩食中華 須崎 ..... 507-0981  
手作りパン工房 Bonheur~ポヌール~ 536-3207  
FUKUSHIMAYA 立川店 534-1700  
相模屋酒店 ..... 536-2476  
メンズカット ヤザワ ..... 536-8738  
森田接骨院 ..... 535-6240

**高松町**  
丸助青果店 ..... 522-3542  
米穀・食料品 横町屋 ..... 522-2609  
中華料理店 太幸苑 ..... 527-0906  
ふじ整体院 ..... 540-9155  
ライブハウス Crazy JAM 529-9507  
創菜家 ほしの ..... 521-1170  
レストラン いなつき ..... 528-1470  
ライブ喫茶 炭火煎茶はるもにあ 521-2959  
立川湯屋敷 梅の湯 ..... 522-3800  
ヘアーサロン イトウ ..... 522-6281  
立川伊勢屋 本店 ..... 522-3793  
書籍・雑誌 フレンド書房 ..... 527-1555  
サロン・ケバク美容室 ..... 527-4716  
HAIR MAKES たしろ ..... 525-2175

**曙町**  
うなぎ しら澤 ..... 524-5061  
久住ハウジング(株) ..... 527-8007  
不動産 大晋商事 ..... 525-3110  
はじめ治療院 ..... 526-3519  
ヤマミュージックアベニュー立川 523-1431  
蕎麦懐石 無庵 ..... 524-0512  
TABACCONIST ゼフィルス 524-0514  
ブティック ASHUTE VENI-VENI 521-1481  
ピストロ シェ・タスケ ..... 527-5959  
あら井館本店 ..... 522-2957  
菊川園 ルミネ店 ..... 526-1688  
たましん すまいるプラザ立川 0120-667-646  
三田花店 ルミネ立川店 ..... 527-5587  
KIRIN COFFEE ルミネ店 527-2322  
立川伊勢屋 ルミネ店 ..... 524-3395  
オリオン書房 ルミネ立川店 527-2311  
みずほ銀行 立川支店 ..... 524-3121  
コスメドール 辰己屋 ..... 524-6051  
エミリー・フローグ 本店 ..... 527-1138  
カフェ クリムト ..... 526-3030  
黒毛和牛専門店 焼肉 FUKI 523-0166  
宮地楽器 MUSIC JOY 立川北 527-6888  
TAKE THE HONEY スイーツ 523-8200  
三井住友銀行 立川支店 ..... 522-2151  
レストラン サヴィニ ..... 525-1662  
立川献血ルーム ..... 527-1140  
アートルーム 新紀元 ..... 528-6952  
MOTHERS ORIENTAL 528-0855  
たましん 本店 ..... 526-7700  
たましんギャラリー ..... 526-7717  
和食どころ 若草茶屋 ..... 526-0010  
三上饅頭店 ..... 522-3259  
エフエムたちかわ ..... 524-0844  
輸入文具 喫煙具 ホワイトハウス 525-8558  
時計電池交換 BASE26 ..... 548-4326  
はしや ..... 528-2338

jorakugajo

真如苑提供番組〈常楽我浄〉

スカパー! : 216ch

スカパー!で放送の常楽我浄は  
スマートフォンアプリ「ivy」(無料)で視聴できます。

マイテレビ : 111ch

放送時間については番組表をご確認ください。

www.shinnyo-en.or.jp

街の話題

吉村作治さんを迎えて

エジプト考古学者として有名な吉村作治氏が、立川にいらっやいます。

応現院文化講演会は、真如苑の寺院「応現院」を文化交流の場として地域のみなさまに広く活用していただくことを目的に開催されています。

第13回を迎える今回、吉村先生は何をお話し下さるのでしょうか? 楽しみです。

第13回 応現院文化講演会

『エジプト文明とピラミッドの謎をさぐる』

【講演者】

早稲田大学名誉教授 工学博士  
エジプト考古学者

吉村 作治 氏

日時:平成25年10月21日(月)14時開演  
(講演時間は90分を予定しています)

会場: 応現院(立川市泉町935-27)

主催: 応現院文化講演会実行委員会

後援: 立川商工会議所・立川観光協会

立川バス株式会社・エフエムたちかわ

協力: 株式会社精神文化映像社

えくてびあん・多摩てばこネット

協賛: 真如苑

【お申し込み方法】

聴講には事前のお申し込みが必要です。ご希望の方は下記要項に従って往復ハガキ、またはインターネットでお申し込みください。

尚、お申し込み多数の場合は抽選となります。

(定員700名様)

①住所、氏名、年齢、電話番号、希望人数(本人含めて2名様まで)を明記し、往復ハガキで申込先に郵送。

申込先: 〒190-0023 立川市柴崎町2-1-10 高島ビル4F 応現院文化講演会実行委員会

②PC、携帯電話によるインターネット応募フォームで申し込む。

http://www.bunkakoenkai.jp



【講演者プロフィール】

吉村作治 氏

1943年東京都生まれ。早稲田大学名誉教授。工学博士(早大)。エジプト考古学者。66年アジア初の早大エジプト調査隊を組織し現地に赴いて以来、45年以上にわたり発掘調査を継続、数々の発見により国際的評価を得る。近年では2009年2月に、ラムセス2世の孫女王の墳墓を新たに発見。2011年6月に第1の蓋石を引き上げ、2012年2月に船の部材の一部の木片サンプリングに成功した。古代エジプト最古の大型木造船「第2の太陽の船」を発掘・復原するプロジェクトもいよいよ本格的に復原作業が開始、全世界からの注目が集まっている。

【申込期間】

往復ハガキの場合は、平成25年8月28日(水)~平成25年9月24日(火) 必着

インターネットの場合は、平成25年8月28日午前10時~平成25年9月24日午後5時まで

【お問い合わせ】

応現院文化講演会実行委員会

TEL 042-523-9898

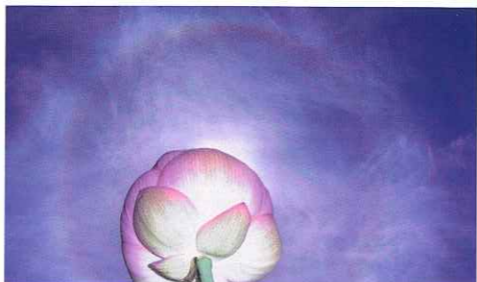


梅雨明け後の立川は...

降りそうな空なのに、ほとんど雨の香りを嗅がないまま終わった立川の梅雨。明けてから真夏日が続き、さらに雨。局地的な豪雨に見舞われた日もあった7月でした。



7月23日18時半頃 柴崎町にて



7月19日 泉町応現院にて

立川消防署長、感謝状を贈呈しました

平成25年6月17日(木)2時30分頃、立川市富士見町のアパートの一室で爆発が起こり、居住していた男性が負傷する火災が発生しました。アパートの隣に住む花田信行さんは爆発音を聞いて、家族とともに現場に駆けつけ応急救護と避難誘導、119番通報を行いました。また、爆発音で目を覚ました同じアパートに住む湯山寛さんは、外廊下にあった消火器で初期消火を行いました。「無我夢中だったが、家族で協力して助けた」と花田さん。「日ごろから防災訓練に参加していたので慌てることなく対応できた」と話す湯山さん。勇気ある行動に感謝状が贈呈されました。



6月27日 花田さんに贈呈 7月2日 湯山さんに贈呈

いよいよ着工になりました

立川駅北口西側といえば、第一アパートや商店街で賑わっていたところ。すっかり更地になったところで、平成25年7月3日、起工式が行われました。着工パーティーの翌日からは、どんどん新しい施設建築物新築工事が進んでいます。北口ではIKEAもその姿をはっきり現してきました。人の流れはどんな風に変わっていくのでしょうか。



着工式にて 7月10日撮影

出迎えてくれたのは顔ナスでした

みの一れ立川で見つけました。野菜も個性豊かに捻るんですね。名前もついていましたよ。「みーちゃん」「のーちゃん」「れーちゃん」だそう。3人合わせて「みの一れ」ですね。お笑い芸人さんみたい。



立川弓道会に留学生

立川弓道会の岡幸平会長からご連絡をいただき、諏訪神社境内の弓道場へ。アメリカからの留学生2組4人が弓道体験をしていました。初めは恐る恐る、慣れてきて何本も矢を射る姿は弓道の面白さに少し目覚めたよう。この日、弓道場には全日本弓道連盟 会長 石川武夫さんもいらしてました。NHK BS1で放送された『SAMURAI SPIRIT 弓道編』は「ワールド・メディア・フェスティバル2010」で金賞を受賞し、海外でも高い評価を受けた番組。そこに登場され、暗闇の中でみごとの的を射たのが、この石川会長です。石川さんは柴崎町の方。こんな身近にいらしたなんて。立川ってすごい!



こちらも立川産です

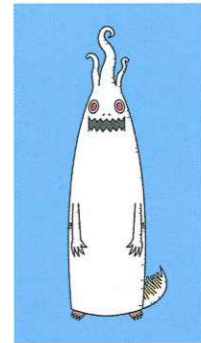
生まれて5日目の東京軍鶏(黒い方)と12日目の烏骨鶏です。ウドだけではありません。野菜も養鶏も酪農もがんばっています!それにしても、やっぱり軍鶏は生まれた時から大きいんですね。



西砂町の伊藤養鶏場で撮影

巷で流行っているそうです

「ムロロロロ」が定番フレーズのウドラです。立川市のキャラクター募集の際、かわいい「くるりん」に次いで2位を射止めたのがこのウドラ。立川市公認なりそこねキャラクターなのだとか。流行りの「キモカワ」系のようなので、最近いろいろな所に出没、マグカップやストラップ、シールなど徐々に活躍の場を広げています。みなさんはどこかで出会ったことがありますか?よ〜く見て下さい。細長く、色白で、頭の先まで白いんです。そう、まさしくこれは立川産ウドのキャラなのです!



© YOICHI MATSUO

表紙の人

山川清隆さん、裕之さん、琴音ちゃん、華音ちゃん、拓人くん

栄町は南砂小学校のお隣に畑がある山川さん。撮影はトウモロコシ畑の真ん中で。シャイな華音ちゃん、写真が苦手?お姉さんの琴音ちゃんはもちろん、お母さんもおばあちゃんも協力して撮影終了。みんないいお顔です!

かたこと

◆暑い時期、表紙の撮影はモデルの皆さんが大変です。ご自宅から少し離れたトウモロコシ畑。今回は、ライティング用発電機を用意しました。うるさい音を出しての撮影でしたが、ご近所の皆さま、ご協力ありがとうございました。◆立川駅長が替りました。多摩てばこネットではJR東日本八王子支社の駅長をずっと取材しています。駅長のおもしろ話を掲載中。是非ご覧ください。◆壽屋は模型やフィギュアに興味がないと、ご存知ない方もいらっしゃるかもしれません。ホビーのお店ですから、はまれば本当に面白い。「カラー麺タイマーウルトラマン」なんて、ウルトラマン好きには堪えられない。カップ麺をただ3分待つより、このタイマーがあれば、バルタン星人を倒すまでのストーリーをリアルに実感しながら調理できます。◆農工大の植物工場をお訪ねすると、玄関に月刊えくてびあんのバックナンバーが貼ってありました。小平の鳥村農園を取材した記事です。人から人へつながって、えくてびあんは毎月発行できています。萩原先生から今度はどこへつながるのでしょうか? 福島でしょうか? 「南極でもブルーベリーできるんじゃないかな?」本当ですか、先生? ◆まだまだ残暑が厳しい立川です。レインボーボール招待券のご応募もありがとうございました。皆さまと一緒に作るえくてびあん。どうぞよろしく願い申し上げます。

えくてびあん◎

9月号 第32巻 通巻346号

平成25年9月1日発行  
発行 有限会社えくてびあん  
〒190-0023  
東京都立川市柴崎町2-1-10 高島ビル4F  
TEL 042-528-0082  
FAX 042-528-0065  
E-mail message@tamatebakonet.jp  
URL www.tamatebakonet.jp  
発行人 黒須 環  
企画・写真・編集 えくてびあん編集スタッフ  
デザイン 池田隆男  
(WATER DESIGN ASSOCIATES)  
印刷 三浦印刷株式会社

無断転載を禁じます。



# 朝ごはん

## ——『八日目の蟬』から

映画にもドラマにもなった小説『八日目の蟬』。これが最後だと別れるつもりで不倫相手の自宅を訪ね、しかし夫婦の留守に赤ん坊を連れ去ってしまう愛人。4年の逃亡生活は、血の繋がらない母子を本当の母子にしてしまう。小豆島で隠れて暮らす母子の幸せな笑顔が、偶然にも全国紙に載ってしまったことで居所が知れ、警察の手が伸びる。逃げなければ！逃げ延びなければこの子と一緒にいられない。海を越える前に、フェリー乗り場で母は子供のためにパンを買う。次の瞬間、この幸せな母子の生活に終わりが告げられるのだ。両腕を掴まれ、子供と引き離されて行くとき、母は泣きながら叫ぶ。「その子はまだ朝ごはんを食べていないの」と。

あの菓子パンはその後どうなってしまったのだろうか。子供の手には渡らなかった。母が乗せられた警察車両に、他の荷物と一緒に押収されてしまったか。母はきっと、後部座席でずっとお腹のすいている子供を思いやっていたに違いない。これから自分がどうなるかより、今、あの子はどうしているか、それだけを考えていたに違いない。

原作に登場する地名は、日野や八王子、立川だったり吉祥寺だったり。誰もが不幸なやるせない話だが、事件とは意外にも身近に起きて、もしかしたら当事者になるかもしれない。どんなことも他人事ではないのだ。

えくてびあんスタッフ